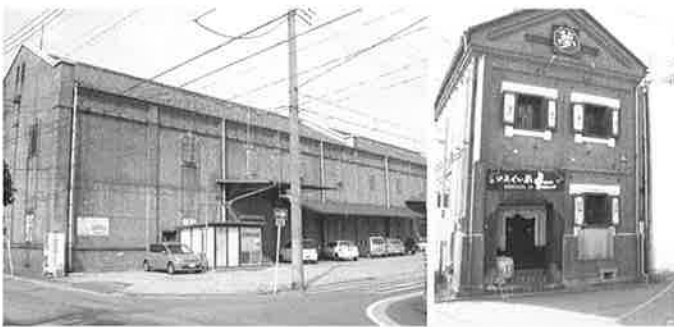


前橋の製糸業の歩み

前橋は、江戸時代より繭・生糸集散地であり、製糸の町として発展してきました。特に明治3年(1870)4月前橋藩参事深沢雄象、藩士速水堅曹等を中心として創設された前橋藩管器械製糸所(イタリア製、木製6人取、動力水車)は、細ヶ沢町(住吉町一丁目)の武蔵屋判七宅で操業を開始しました。これが日本における器械製糸の始めてあり、明治5年(1872)10月、国立富岡製糸場に先立つこと2年6ヶ月前のことでした。その後、前橋の蚕糸業は大正期、昭和初期の隆盛を経て、第2次世界大戦まで日本の製糸の中心としての地位を保ち、今日の前橋市発展の礎となりました。

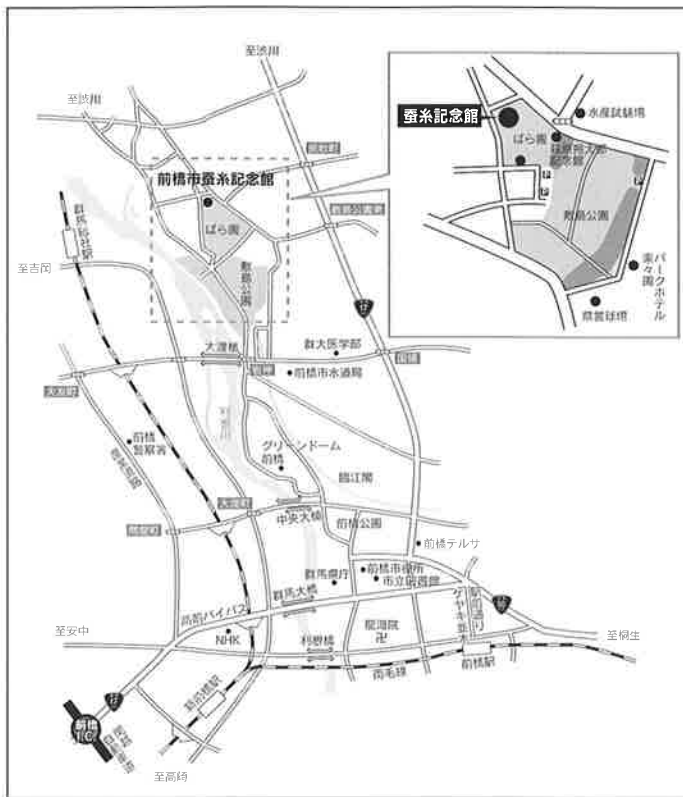


▲日本で最初の前橋藩器械製糸所跡碑(住吉町一)



▲旧安田銀行担保倉庫(住吉町二)

▲旧勝山社煉瓦蔵(本町二)



前橋市蚕糸記念館

◆交通案内

- ・前橋駅から車で約15分
- ・関越自動車道 前橋ICから車で約15分

◆利用案内

- ・開館日 4月~11月の土・日・祝のみ開館
(ばら園まつりの間は連日開館)
- ・開館時間 9時~16時
- ・入館料 無料
- ・休館日で特に見学を希望される方は、あらかじめ担当課へお申し込みください。

- ◆所在地 前橋市敷島262番地(敷島公園ばら園内)
- ◆駐車場 敷島公園ばら園駐車場をご利用ください。
- ◆問合せ先 前橋市教育委員会文化財保護課

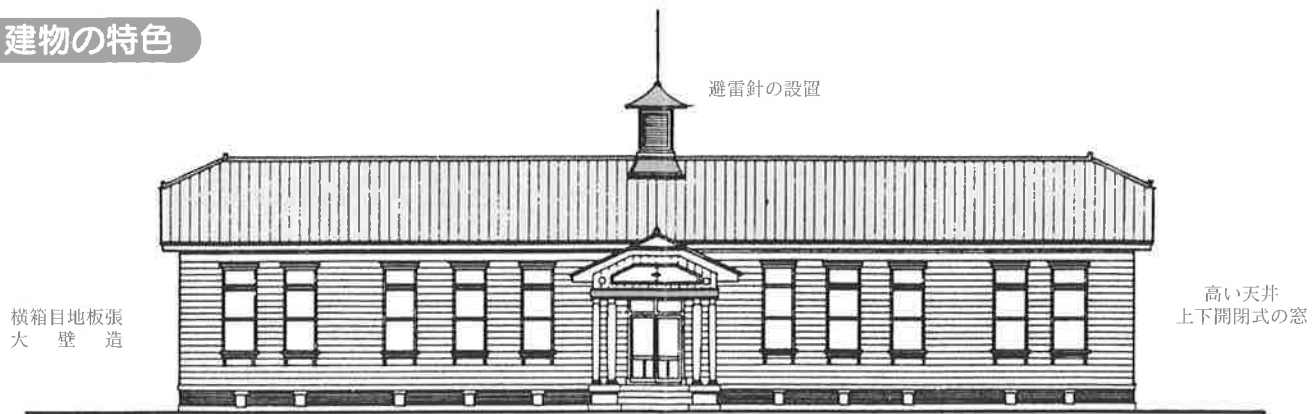
☎027-280-6511

前橋市 蚕糸記念館



前橋市教育委員会

建物の特色



レンガ積み基礎 ドアの低い取っ手 エンタシス状の玄関の角柱 唐草模様の床下換気口

館内の様子



(機織り)



(上州座繰)



(各種まぶし)



(蚕の一生)

県指定重要文化財 旧蚕糸試験場事務棟

1912年に建てられた建造物。国立原蚕種製造所前橋支所として建設されました。当時、日本全国で6箇所に建設された内、現存する唯一のものです。

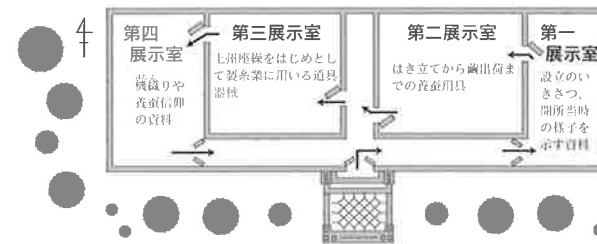
当時、日本の主な輸出産業の一つであった絹糸に関わる、カイコの飼育方法や品種改良、病気対策などの研究をして大きな業績を上げました。

1981年に前橋市がこの地に移築し、「糸の町前橋」の象徴とし、蚕糸記念館として開館しました。

FORMER SILK INSTITUTE OFFICE BUILDING

This building was completed in 1912 and was initially built as the National Origin Silkworm Institute, Maebashi Branch. Originally, there were six branches in Japan, but only this building remains. When in operation, success was achieved here on methods of growing and breeding silkworm, as well as disease prevention. In 1981, Maebashi City removed the building here from its original site and rebuilt it here. It is now open as the Memorial Silk Museum, as silk is the symbol of Maebashi City, the "City of Silk".

見学順路



◆群馬県指定重要文化財 記号番号 県重144号

名称 旧蚕糸試験場事務棟

指定年月日 昭和56年7月10日

開館年月日 昭和57年4月28日

所在地 前橋市敷島町262番地

◆国登録有形民俗文化財

前橋の養蚕・製糸用具及び関連資料

登録年月日 平成20年3月13日